

令和 7 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 8			学校名		県立水戸高等特別支援学校										学校長名		鏑木 治			
副校長名						教頭名		佐藤 典子						事務（室）長名		谷田部 美紀					
教職員数	教 諭	51	養 護 教 諭	2	常 勤 講 師	4	非常勤 講 師	1	実 習 助 手	2	寄 宿 舎 指 導 員	20	事務職員	3	技 術 職 員 等	15	計	98			
生徒数	部		1 年					2 年					3 年					合計		合計 クラス数	
			男			女		男			女		男			女		男	女		
	高等部		33			15		32			12		34			12		99	39	18	
	計															138					

2 目指す学校像

- ◆生徒が毎日通うのを楽しみだと思える学校
- ◆教職員が誇りと自信、やりがいをもって勤務できる学校
- ◆保護者が生徒を安心して通わせたいと信頼される学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学校経営	・ オープンスクールや学校公開・見学、随時の WEB ページの更新など、本校の教育活動の理解啓発に努めている。 ・ 働き方改革サポートカードの活用など、職員の意見を取り入れての業務改善を進めている。 ・ 定時退勤日の設定や業務割振りの工夫、長期休業期間中の時差出勤等により教職員の負担軽減に努めている。	・ 情報の発信の更なる充実 ・ 関係機関と連携した特別支援教育のセンタ－的機能の充実 ・ デジタル化の推進による業務改善及び行事等の在り方の工夫 ・ 人権意識の向上と組織的な支援体制の確

	・危機管理マニュアルの見直し、防災デイキャンプ、防災グッズ制作等をとおして防災教育に取り組んでいる。 ・研修や随時の情報共有により、不祥事の未然防止に努めている。 ・生徒アンケートやトーキングタイム、支援連絡会等を定期的に行い、的確な生徒の実態把握と支援に努めている。	- 立 ・コンプライアンス遵守に対する取り組みの継続 ・諸活動を通じての安全で安心な学校の継続 ・コミュニティ・スクールの有効な活用
学習指導	・「就労アセスメント BWAP 2（障害者の就労スキルを評価するツール）」や「ステップアップカード（他県高等特別支援学校の実践）」を取り入れるなど、時代に即した職業教育の在り方を研究し、授業改善を進めている。 ・系統的な職業観の育成につながる教育課程の編成を見直している。 ・専門家による講義等、軽度知的障害の自立活動について研修し、実践を進めている。 ・タブレット端末での授業を基本とし、動画作成、チャットや掲示板機能、生成 AI 等の活用など、対話的で深い学びにつながる ICT 活用を模索している。 ・校外での学習活動を積極的に取り入れ、自己有用感や自己肯定感を高め、働く意欲の向上に努めている。 ・生徒が製品開発の企画提案をしたり、授業の活動内容や役割を決定したりするなど、生徒が主語になるような学びになるように工夫している。	・相互授業参観や先進校事例の導入、ICT 機器の有効活用、専門家による研修等による授業力の向上 ・教育活動全般における生徒が主体となる学習活動の検討・計画・実践 ・道徳教育・自立活動・防災教育・職業教育・総合的な探究の時間・交流及び共同学習・部活動等の充実 ・寄宿舎の支援態勢及び支援内容の検討・整理

4 中期的目標

- 1 社会で活躍する生徒を育成する教育内容・実績から、進路として選ばれる学校【1.4 倍以上の維持（過去 5 年平均 1.41 倍）】
- 2 一人一人の能力や適正に応じた、丁寧な進路指導の充実【卒業半年後の職場定着率 90%（全国平均 高卒 1 年以内 85%）】

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
1 地域に開かれた学校とセンター的機能の充実（「つながり」の強化）	① コミュニティ・スクール導入による地域と学校の Win-Win の関係づくり ② 情報発信による理解啓発の推進 ③ 地域の小中学校等への積極的な支援 ④ P T A や地域、教育・医療・福祉等の関係機関と連携した活動の推進

2 心身共に健康な生徒の育成（「こころ」の教育）	① 発達段階や障害の特性等を踏まえた道徳教育の推進 ② 生徒が主体となった自発的、自治的活動の工夫 ③ 交流及び共同学習の内容の工夫 ④ スポーツ、文化・芸術的活動への積極的な参加
3 安全・安心な教育環境の徹底（「あんしん」な環境）	① 環境の整備、安全点検等の徹底による事故や感染症の未然防止 ② 自分や他者の健康や安全、自己管理能力（セルフメディケーション）を育てる指導の工夫 ③ いじめ防止、情報モラルの取組の強化 ④ 校内の相談・支援体制の充実 ⑤ 防災教育の推進 ⑥ 行事・業務内容の見直し改善等、働きやすい環境の整備と充実 ⑦ 教職員におけるコンプライアンス遵守の徹底
4 日々の授業の工夫・改善（「まなび」の充実）	① 授業の工夫・改善による主体的・対話的で深い学びの実現 ② ICT機器を活用した学習活動の充実 ③ 生活年齢や障害特性に応じたカリキュラム・マネジメント ④ 専門家との連携や研修等による教員の専門性の向上 ⑤ 現場実習等を含めた職業教育の充実 ⑥ 寄宿舎の魅力度アップ